

保護者の皆様

令和3年度 3月16日
学校法人田口学園 ちどり幼稚園

令和3年度 自己評価 学校関係者評価報告について

1. 本園の教育目標

「気づき・考え・実行」できる園児の育成

2. 本年度の重点項目

- ① 言葉による伝え合いの向上を図りながら非認知能力（10の姿）を高める。
- ② 挨拶運動週間を設定し、相手の名前を付けて挨拶ができる子ども育成を目指す。
- ③ 手洗いうがいの習慣を身に付けさせる（コロナウイルス感染症予防）
- ④ 「体力づくり」計画を通して基礎体力の向上を図る
- ⑤ ICTを活用した設定保育を行い、保育の質の向上を図る。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	生活力の向上を図る	A	○ICTを活用した保育を行うことができ保育改善を図ることができた。 ○幼児の姿や指導案をもとに、教職員が定期的に話し合い、保育の質の向上に向けた目標や内容の見直しを行った。
2	健康な心と体の育成	A	○相手の名前を先に言って挨拶（先名後礼）を各学年のテーマに、「挨拶カード」や「挨拶ワッペン」などの工夫を各学年で考え実施した。その結果、8割以上の園児が先名後礼を身に付けた。 ○「朝の体力づくり」に意欲的に参加せる取組みを計画的に実施したことで走る、投げる、ぶら下がる、跳ぶ記録においては、8割の園児が全国平均を上回った。 ○8割以上の園児に外遊びから帰ってきた後の手洗い、うがいの習慣を身に付けさせることができた。

3	保護者と連携した教育活動の推進	A	○HPの内容を充実させるために、毎週話し合いを持ち、見直しを図った。また、週1回以上更新することができた。 ○参観日に実施した保護者アンケートをもとに、参観・懇談内容の充実が図れた。
---	-----------------	---	--

評価（A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	3つの評価項目において重点的に取り組んだ結果、一人ひとりの幼児を大切にした質の高い教育（保育）を実践することができた。また、次年度に向け課題を明確にし、さらなる質の高い教育（保育）に向けた取組みを推進していきたい。

評価（A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	躯体的な取り組み方法
1	環境・安全	○ 環境 教室や園庭の環境について話し合い、遊びが充実するように幼児の発達に添った環境の構成に取り組む。 ○ 安全 緊急事態発生に備えて、危機管理マニュアルなどを活用し研修会を開催するなどして、教職員間で共通理解し、意識の向上やマニュアルの改善を図る。
2	保育の質の向上	○知・徳・体のそれぞれの分野において工夫改善を図りながら、特色ある活動をより充実発展させる取り組みを進めなければならない。
3	幼小接続	幼稚園と小学校の教職員が共に学ぶ機会を持ち、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を共有して教育の接続を図る。

6. 学校関係者評価委委員会の評価

<p>各項目すべてにおいてA評価を達成されているところが素晴らしい。アンケートを節目々に取られ、反省と改善の実践を積み重ねてこられた結果だと思います。</p> <p>園児さんたちの目線で、あいさつや体力向上（体力づくり）を楽しく身に付ける仕組みが上手く機能している。まだ、コロナ禍の収束が見えませんが、引き続き、園児さん職員さんのご健康に留意されて幼稚園の目標達成に向けて進んで頂きたいと思います。</p>
